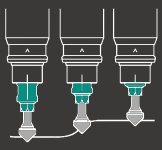
アルミ・鉄ワーク両用
ロボットバリ取りセル

RDM-S



SMOOTH REACTIVEとは？

バリ取り自動化において、寸法にばらつきのあるワークであっても均一な仕上がりを得る加工技術です。先端工具がワークに倣って動き、削れ過ぎやバリの取り残しを防ぎます。C0.4以下など精度が求められる場合にも有効です。



アキシャル方向に
最大10mm伸縮



ラジアル方向に
360°傾動

技術解説は
こちら！

2つのリアクティブ機構を7kg可搬ロボットに搭載

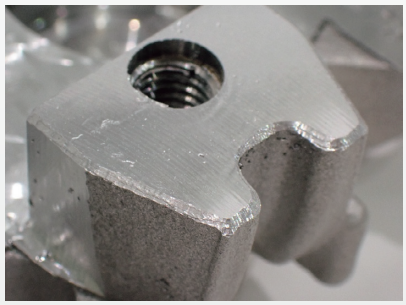
ツインスピンドルで時間短縮＆多品種に対応

リアクティブ機構 伸縮型 for ワークの「エッジ」に発生するバリに適しています。

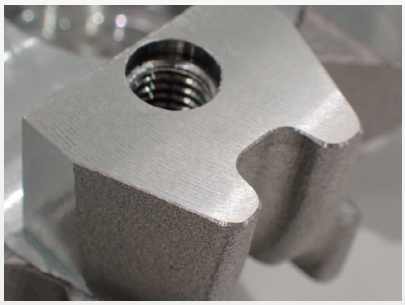
ワーク形状に吸い付くようにならい
C0.4面取りを安定して加工できる



一般的な伸縮機構



リアクティブ機構



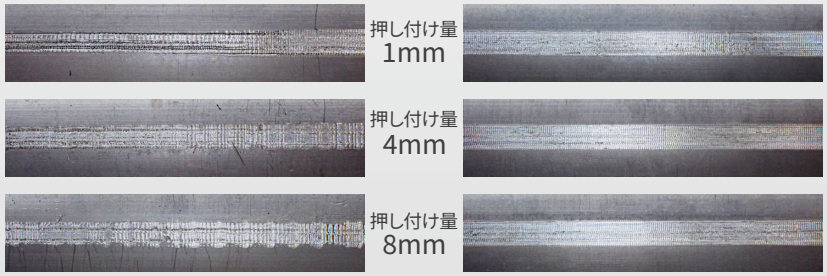
リアクティブ機構 傾動型 for ワークの「面」に発生するバリに適しています。

押し付け量に依存しない一定荷重加工
振動を吸収し高い加工面品質が得られる



一般的な傾動機構

リアクティブ機構

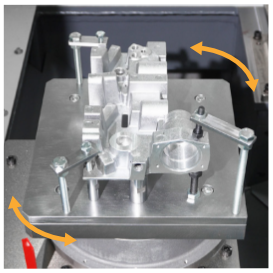


特 長

1 ツインスピンドルとインデックステーブルで あらゆる位置のバリにアクセス可能

特性の異なる2つの「BARRIQUAN」を搭載することで ワークの「エッジ」「面」ともにバリ取りが可能です。ワーク を旋回させることで、狭小エリアでの5面加工を実現します。





2 クーラントによる切粉流しで チョコ停防止＆メンテナンスの手間軽減

切粉の堆積によるセンサ異常や加工不良を防止します。 また、粉状の切粉をクーラントで流しメンテナンスの 手間を軽減できます。



主な仕様



型式	RDM-S
装置サイズ（mm）	W1000×D1700×H2100
テーブル	ロボット付加軸 インデックステーブル テーブルサイズ：□300
ロボット	垂直多関節ロボット（可搬質量：7kg）
搭載 スピンドルモータ	BARRIQUAN BRQ-EZ01（伸縮型） / BRQ-EL02（傾動型）

加工テスト

deburr labo

バリ取り研究所



バリ取り研究所「デバラボ」（静岡県 掛川市）にて、バリ取り自動化のご相談 や加工テストを随時承っております。

ご相談内容やバリ取り加工テストの 結果をもとに、最適な自動化工法の 提案を行います。

バリ取り加工テストの お申し込みはこちら

SUGINO
SUPER! TECHNOLOGY

株式会社 スギノマシン
www.sugino.com
〒936-8588 富山県滑川市中野島1800番地

■ 商品改良のため予告なく仕様などを変更することがありますので、ご了承ください。 ■ 記載内容は2026年6月現在のものです。 ■ 無断コピー・転載を禁止します。
■ 本商品を海外へ輸出する際は、日本の外国為替および外国貿易法に基づき、輸出管理手続きを行ってください。
■ 掲載されている写真と実際の商品は、デザインや外観が異なる場合があります。
■ SUGINO、SUGINO、、BARRIQUANは、日本または外国における当社の商標です。

2606 01 MKT